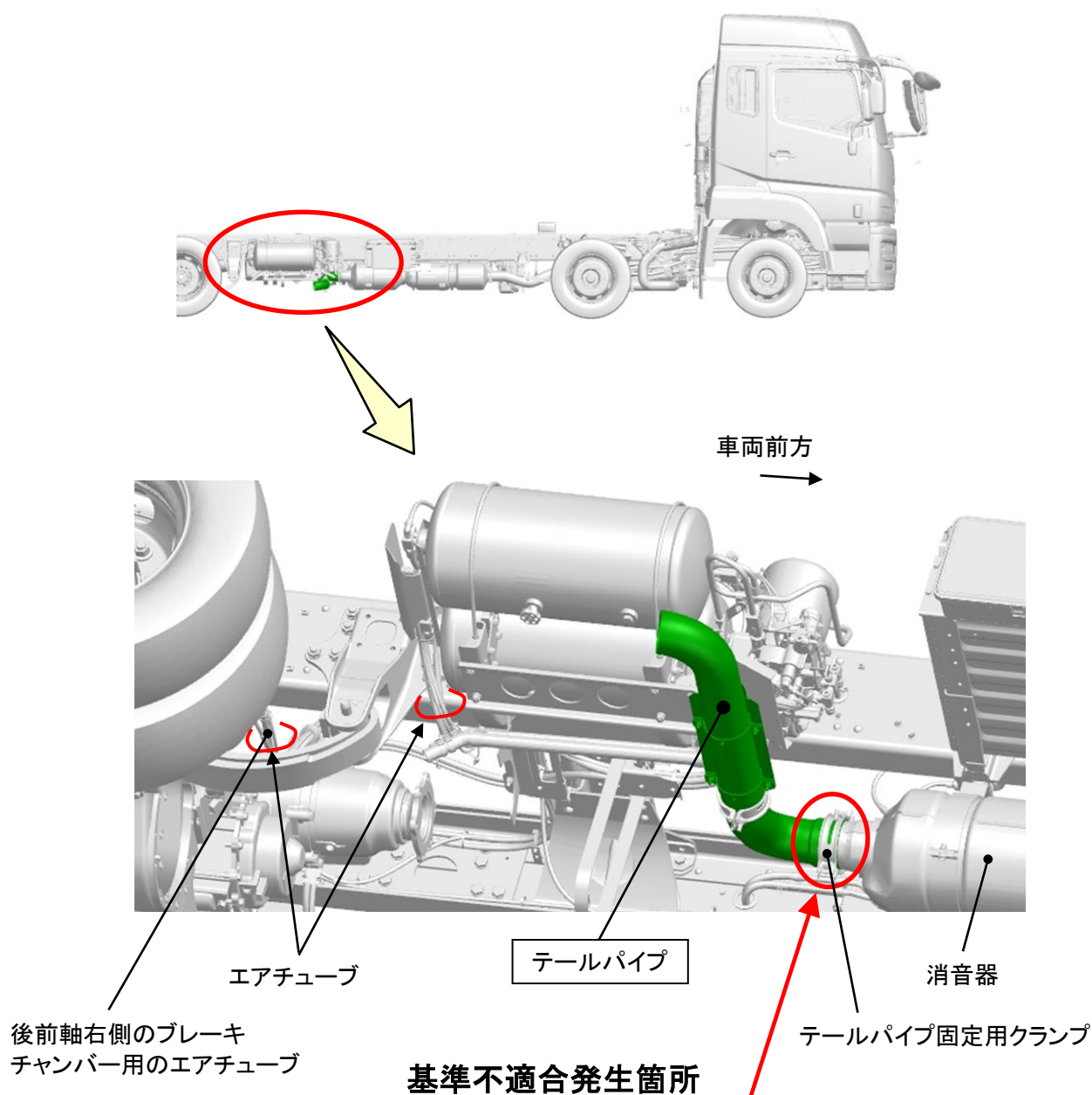


改善箇所説明図



大型トラックにおいて、消音器に結合されるテールパイプの材質が不適切なため、結合部に融雪剤等が残った状態で使用を続けると、結合部のテールパイプが腐食して破断し、消音器出口からの排気ガスによってエアチューブが溶損することがあり、最悪の場合、ブレーキ制動力の低下/失効、突然の駐車ブレーキ作動、T/M の変速不良が生じるおそれがある。また、破断したテールパイプの固定用クランプが破損すると、テールパイプが落下して他の交通の安全に影響を及ぼすおそれがある。

改善措置の内容

全車両、テールパイプを対策品に交換すると共に、テールパイプ固定用クランプ一式を新品に交換する。

注：□ は対策品に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、テールパイプと消音器の固定用クランプに白色ペイントを塗布する。